

# 道

2017・11・1

通信 No 1462



《本日の練習》3部 中山先生

- ・タベの鐘 (口)
- ・やなぎ
- ・鉄路の歌
- ・アムール河の波 (ロシア語)

11月8日(水) 1部 小坂先生

- ・広きドニエプルの嵐・向こうの小川で
- ・雪白く ・小川の洗濯場で
- ・キエフの鳥の歌 ・森はざわめく
- ・わが想い わが詩

《ウクライナについて その2》ご紹介いたします。(テノール 岡田紀久生さん情報提供)

## ◆経済◆

肥沃な国土を背景に大規模な機械化農業が行われ、小麦(世界8位)、大麦(2位)、ライ麦(5位)、じゃがいも(4位)などを生産し「ヨーロッパの穀倉地帯」と呼ばれ旧ソ連では1位の生産高。

鉄鉱石や石炭、マンガンをはじめドニエプル流域の水力発電などの天然資源にも恵まれている。ライ麦は黒パンの原料にもなります。

(裏面 朝倉投稿記事参照)

## ウクライナ

ウクライナ共和国



## ◆「ド」のつく名称が多いわけ◆

今回歌う「ドニエプルの嵐」のドニエプル川、モルダビア国境を流れるドニエストル川、ロシア国境に近いドニエツ川とウクライナには「ド」の附く川が多いのはなぜでしょう？

「ド」はケルト語(紀元前5世紀～紀元前1世紀にかけて、中欧から西欧にかけて繁栄したインド・ヨーロッパ語族)の「川」を意味しドナウ(Donau)の語源。

ドニエストル(こちらの川)  
ドニエプル(あちらの川)

オデッサを中心にみでの位置関係。黒海に流れ込む。

ドン川、ドニエツ川の「ド」はペルシャ語で川を意味し両河川ともにアゾフ海に流れ込む。

《 今後の会議予定 》

11月1日(水) 2時30分～ 運営委員会岡野互助会館

11月8日(水) 4時～ 企画選曲委員会

11月29日(水) 4時～ チラシ・チケット・プログラム委員会

本日の片づけは  
ソプラノとバス